

Password Protection

ユーザーズガイド (HUS100 シリーズ)

Hitachi Storage Navigator Modular 2 を使ってアレイ装置を操作する場合は、必ずこのマニュアルを読み、操作手順、および指示事項をよく理解してから操作してください。

また、このマニュアルをいつでも利用できるよう、Hitachi Storage Navigator Modular 2 を使用するコンピュータの近くに保管してください。

対象製品

P-002D-J502

免責事項

このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製することはできません。

このマニュアルの内容については、将来予告なしに変更することがあります。

このマニュアルに基づいてソフトウェアを操作した結果、たとえ当該ソフトウェアがインストールされているお客様所有のコンピュータに何らかの障害が発生しても、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

このマニュアルの当該ソフトウェアご購入後のサポートサービスに関する詳細は、当社営業担当にお問い合わせください。

他社商標

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

なお、本文中では、®および™は明記していません。

輸出管理について

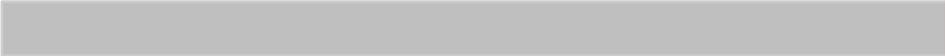
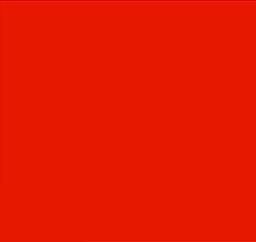
本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

発行

2013年5月（第6版）K6603676

著作権

All Rights Reserved, Copyright (C) 2011, 2013 Hitachi, Ltd.



目次

はじめに	5
対象読者	6
1. 概要	7
1.1 概要	8
2. 準備	9
2.1 動作環境と必要条件	10
2.2 仕様	11
2.3 運用例	12
3. インストールとアンインストール	13
3.1 インストール	14
3.2 アンインストール	16
3.3 無効化と有効化の設定	18
4. Password Protectionの操作	21
4.1 アカウントを登録する	22
4.2 ユーザーIDを変更する	23
4.3 ユーザーIDを削除する	24
4.4 パスワードを変更する	25
4.5 装置へログインする、ログアウトする	26
4.5.1 ログイン手順	26
4.5.2 ログアウト手順	26
4.5.3 強制ログイン手順	26
5. CLIでの操作	27
5.1 インストール	28
5.2 アンインストール	29

5.3	無効化と有効化	30
5.4	Password Protection 情報の設定	31
5.4.1	アカウントの登録	31
5.4.2	ユーザ ID の変更	31
5.4.3	ユーザ ID の削除	31
5.4.4	パスワードの変更	31
5.5	装置へのログイン、ログアウト手順	33
5.5.1	ログイン手順	33
5.5.2	ログアウト手順	33
5.5.3	強制ログイン手順	33
5.5.4	ログインの確認	34
5.6	お問い合わせ先	35
	索引	37



はじめに

このマニュアルは、HUS110/130/150 アレイ装置用の「Password Protection ユーザーズガイド」です。このマニュアルでは、Password Protection を初めて導入するときのインストール方法や Password Protection の主な機能について簡単に説明しています。
また、このマニュアルでは特に断りのない限り、HUS110/130/150 アレイ装置を「アレイ装置」と呼びます。

□ 対象読者

対象読者

このマニュアルは、次の方を対象読者として記述しています。

- システムの運用管理者
- システムエンジニア
- アレイ装置の保守員

このマニュアルの内容については、万全を期しておりますが、ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがございましたら当社までご連絡ください。

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しています。

概要

Password Protection によって、任意の HUS100 シリーズに対して、アクセスを許可する Hitachi Storage Navigator Modular 2 のユーザーを限定し、複数のユーザーからの同時アクセスを防止することができます。これにより HUS100 シリーズからアクセス権のないユーザーへの情報提供を抑止します。また、複数ユーザーが同時に同じ HUS100 シリーズの構成情報を更新するような事象の回避がユーザーの排他制御により可能となります。

本章は以下の内容で構成されています。

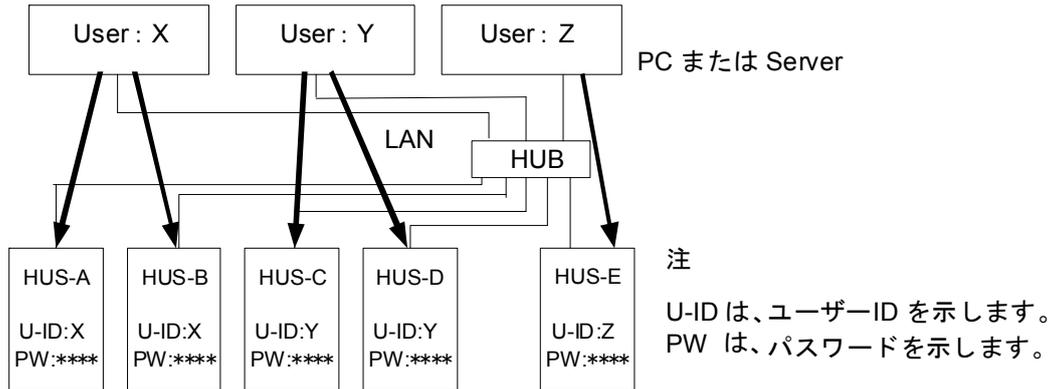
- 1.1 概要

1.1 概要

ユーザー登録は、Hitachi Storage Navigator Modular 2 を使用して、ユーザーID とパスワードを指定します。

Hitachi Storage Navigator Modular 2 からのログイン時に、HUS100 シリーズは登録されているユーザーID とパスワードをチェックし、登録外のユーザーのログインを拒否します。また、あるユーザーからログインされた HUS100 シリーズはログアウトされるまで、他のユーザーからのログインを拒否します。

次に、Password Protection の概要を示します。



上記例における各 Hitachi Storage Navigator Modular 2 からのアクセス可否を以下に示します。

ユーザー \ HUS	A	B	C	D	E
X	可	可	拒否	拒否	拒否
Y	拒否	拒否	可	可	拒否
Z	拒否	拒否	拒否	拒否	可

Password Protection の概要

2

準備

お客様が Password Protection を使用するための準備について記載します。

本章は以下の内容で構成されています。

- 2.1 動作環境と必要条件
- 2.2 仕様
- 2.3 運用例

2.1 動作環境と必要条件

表 2-1に Password Protection の動作環境と必要条件を示します。

表 2-1 Password Protection の動作環境と必要条件

項目	仕様
動作環境	管理用 PC にはバージョン 21.50 以上の Hitachi Storage Navigator Modular 2 が必要です。
必要条件	ありません。
注意事項	<ul style="list-style-type: none">• アレイ装置保守のため、保守員も Hitachi Storage Navigator Modular 2 を使用します。Password Protection を使用する際は、保守員用アカウントも作成し、保守作業に支障をきたさないようにしてください。• アレイ装置を長期間使用しないなどにより、Password Protection を無効または施錠する場合には、すべてのユーザーID を削除することを推奨します。
制限事項	<ul style="list-style-type: none">• Account Authentication とは併用できません。両方インストールした場合は、先にインストールした機能が有効になります。• Account Authentication から Password Protection に変更する場合は、Account Authentication を無効にしたあとで、Password Protection を有効にしてください。• Password Protection から Account Authentication に変更した場合または Account Authentication から Password Protection に変更した場合、登録したアカウント情報は引き継がれません。• Password Protection はログイン後の接続を IP アドレスにより管理しています。このため同じ管理用 PC にインストールされた Hitachi Storage Navigator Modular 2 から、IPv4 アドレスでの装置登録によるログインと IPv6 アドレスでの装置登録によるログインは区別されます。このような場合、再度ログインしてください。
追加インストール／構成変更	ありません。

2.2 仕様

表 2-2に Password Protection の仕様を示します。

表 2-2 Password Protection の仕様

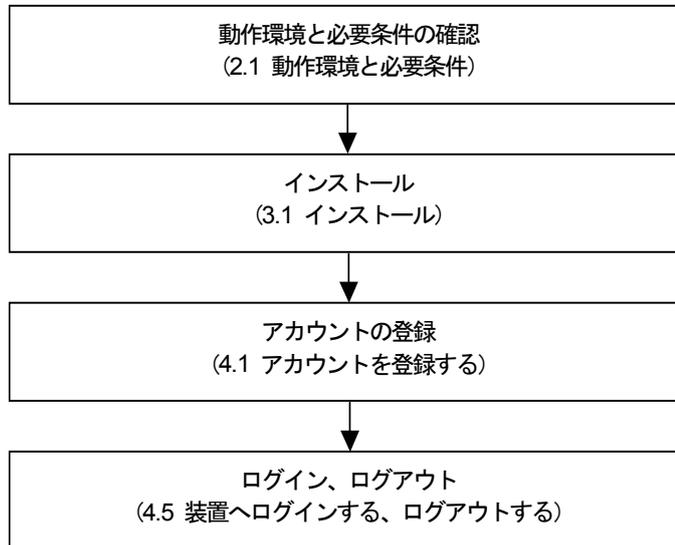
項目	仕様
ユーザーID、パスワードの登録とアクセスガード	<ul style="list-style-type: none">• Hitachi Storage Navigator Modular 2 から、1 台の HUS100 シリーズに対して最大 20 個のユーザーID、およびパスワードを登録できます。• ユーザーID、およびパスワードが未登録であるユーザーからのログインは拒否されます。(注)
Hitachi Storage Navigator Modular 2 複数ユーザーからの同時ログイン不可	ユーザーID、およびパスワードが登録済みである Hitachi Storage Navigator Modular 2 のユーザーからログインされた HUS100 シリーズは、当該ユーザーがログアウトするまで、ユーザーID、およびパスワードが登録済みである他のユーザーであってもログインは拒否されます。 なお、同時ログインによるアクセス拒否なのか、上記未登録によるアクセス拒否なのかは、Hitachi Storage Navigator Modular 2 のエラーメッセージにより判断できます。
Account Authentication との併用	Account Authentication とは併用できません。

注意：アレイ装置保守のため、保守員も Hitachi Storage Navigator Modular 2 を使用します。ユーザーID を登録する際は、保守員のユーザーID も登録し、保守作業に支障をきたさないようにしてください。

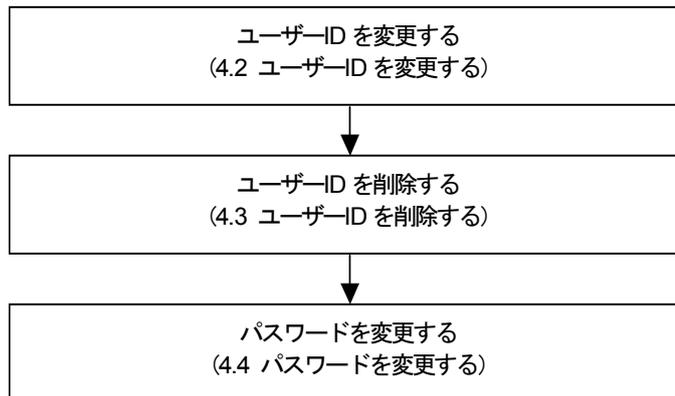
2.3 運用例

Password Protection のインストールから基本設定などの運用例を作業の流れに従って説明します。

初期設定



運用



インストールとアンインストール

ここでは、Hitachi Storage Navigator Modular 2 を使用したインストール方法とアンインストール方法について説明します。

本章は以下の内容で構成されています。

- 3.1 インストール
- 3.2 アンインストール
- 3.3 無効化と有効化の設定

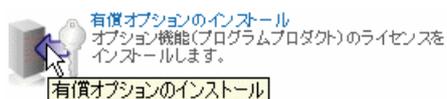
3.1 インストール

インストールするためには、Basic Operating System for Modular に添付されているキーファイルが必要です。

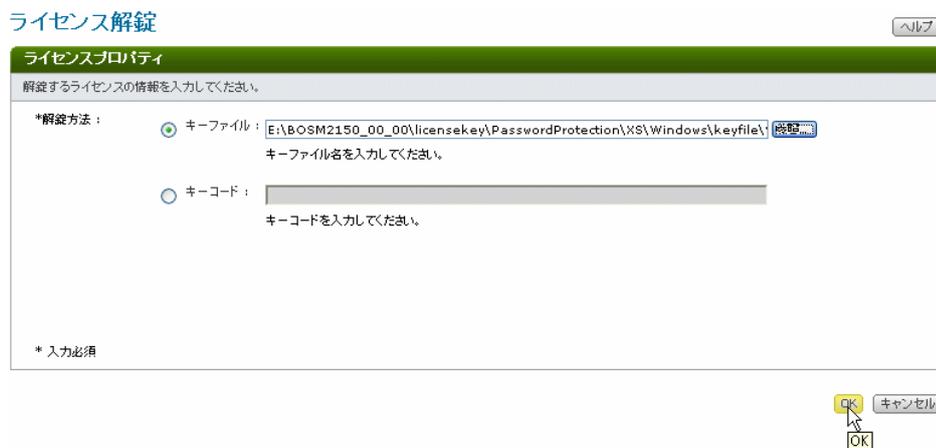
注意：操作するアレイ装置が正常であることを確認後、インストール／アンインストールしてください。コントローラー閉塞などの障害が発生している場合は、実行できません。

Hitachi Storage Navigator Modular 2 を使用した場合のインストール手順を以下に示します。

1. Hitachi Storage Navigator Modular 2 を起動してください。
2. 登録済みのユーザーID とパスワードを入力して、Hitachi Storage Navigator Modular 2 にログインしてください。
3. Password Protection をインストールするアレイ装置を選択してください。
4. アレイ表示/設定ボタンをクリックしてください。
5. コモンアレイタスク画面から、有償オプションのインストールアイコンをクリックしてください。



ライセンス解錠画面が表示されます。



6. 解錠方法でキーファイルのラジオボタンを選択し、キーファイルのパスとキーファイル名を入力し、OK ボタンをクリックしてください。

キーファイルへのパスの例：HUS110 の場合

E:\BOSM2150_00_00\licensekey\PasswordProtection\XS\Windows\keyfile

E は Basic Operating System for Modular の DVD-R を装着したドライブレターです。

HUS130 の場合、XS は S に置き換えてください。

HUS150 の場合、XS は MH に置き換えてください。

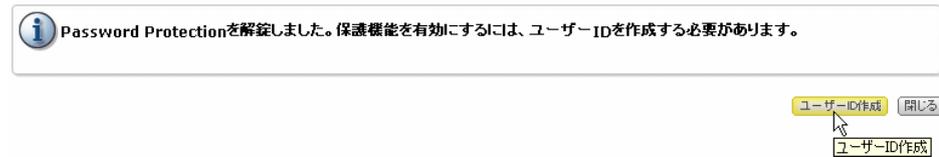
7. 確認メッセージが表示されるので、確認ボタンをクリックしてください。

ライセンス解錠



8. 確認メッセージが表示されるので、**閉じる**ボタンをクリックしてください。
インストール時にユーザーIDを作成したい場合は、**ユーザーID 作成**ボタンをクリックしてください。その場合は、「[4.1 アカウントを登録する](#)」を参照して、ユーザーIDを作成してください。

ライセンス解錠



Password Protection のインストールが完了しました。

3.2 アンインストール

アンインストールするためには、Basic Operating System for Modular に添付されているキーファイルが必要です。一度アンインストールすると、再度キーファイルで解錠するまでは Password Protection は使用できません（施錠状態）。

注意：アンインストール前に、すべてのユーザーID を削除することを推奨します。

Hitachi Storage Navigator Modular 2 を使用した場合のアンインストール手順を以下に示します。

1. Hitachi Storage Navigator Modular 2 を起動してください。
2. 登録済みのユーザーID とパスワードを入力して、Hitachi Storage Navigator Modular 2 にログインしてください。
3. Password Protection をアンインストールするアレイ装置を選択してください。
4. アレイ表示/設定 ボタンをクリックしてください。
ログインダイアログボックスが表示されます。
5. 登録したユーザーID とパスワードを入力し、ログインボタンをクリックしてください。

ログイン -HUS110_91200026

ユーザープロフィール

このアレイ装置にアクセスするためにはログインする必要があります。

* ユーザーID :

* パスワード :

* 入力必須

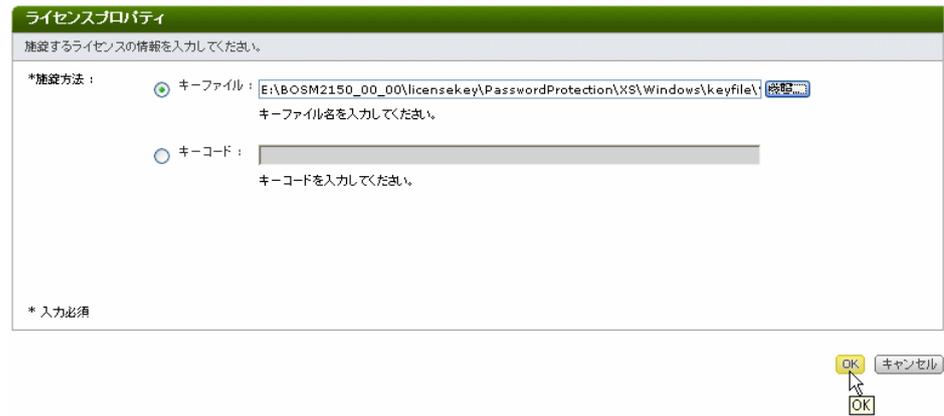
ログイン キャンセル

6. 設定ツリー内のライセンスアイコンをクリックしてください。



7. ライセンス施錠ボタンをクリックしてください。
ライセンス施錠画面が表示されます。

ライセンス施錠



8. 施錠方法でキーファイルのラジオボタンを選択し、キーファイルのパスとキーファイル名を入力し、OK ボタンをクリックしてください。

キーファイルへのパスの例：HUS110 の場合

E:\BOSM2150_00_00\licensekey\PasswordProtection\XS\Windows\keyfile

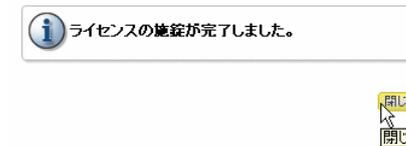
E は Basic Operating System for Modular の DVD-R を装着したドライブレターです。

HUS130 の場合、XS は S に置き換えてください。

HUS150 の場合、XS は MH に置き換えてください。

9. 確認メッセージが表示されるので、閉じる ボタンをクリックしてください。

ライセンス施錠



Password Protection のアンインストールが完了しました。

3.3 無効化と有効化の設定

Password Protection はインストールされた状態（解錠状態）で、機能の利用の有効化や無効化の設定できます。

注意：無効化する前に、すべてのユーザーID を削除することを推奨します。

Password Protection の利用を有効または無効に設定する手順を次に示します。

Hitachi Storage Navigator Modular 2 を使用した場合の設定手順を以下に示します。

1. Hitachi Storage Navigator Modular 2 を起動してください。
2. 登録済みのユーザーID とパスワードを入力して、Hitachi Storage Navigator Modular 2 にログインしてください。
3. Password Protection を設定するアレイ装置を選択してください。
4. アレイ表示/設定 ボタンをクリックしてください。
ログインダイアログボックスが表示されます。
5. 登録したユーザーID とパスワードを入力し、ログインボタンをクリックしてください。
6. 設定ツリー内のライセンスアイコンをクリックしてください。
7. ライセンス名内の PASSWD-PROTECT を選択し、状態変更ボタンをクリックしてください。
ライセンス状態変更ダイアログボックスが表示されます。



8. 有効化する場合はチェックボックスにチェックを入れ、無効化する場合はチェックボックスのチェックを外し、OK ボタンをクリックしてください。
9. 確認メッセージが表示されるので、閉じるボタンをクリックしてください。
チェックボックスをチェックし、Password Protection の利用の有効化時にユーザーID を作成したい場合は、ユーザーID 作成ボタンをクリックしてください。その場合は、「[4.1 アカウントを登録する](#)」を参照して、ユーザーID を作成してください。

ライセンス状態変更 - PASSWD-PROTECT

 Password Protectionを有効にしました。保護機能を有効にするには、ユーザーIDを作成する必要があります。

[ユーザーID作成](#) [閉じる](#)
[ユーザーID作成](#)

Password Protection の利用の有効化/無効化の設定が完了しました。

Password Protection の操作

アレイ装置に Password Protection 情報を設定すると、当該アレイ装置は特定の Hitachi Storage Navigator Modular 2 に対してのみ情報を提供します。

本章は以下の内容で構成されています。

- 4.1 アカウントを登録する
- 4.2 ユーザーIDを変更する
- 4.3 ユーザーIDを削除する
- 4.4 パスワードを変更する
- 4.5 装置へログインする、ログアウトする

4.1 アカウントを登録する

Hitachi Storage Navigator Modular 2 からアカウントを登録する手順を次に示します。

1. Hitachi Storage Navigator Modular 2 を起動してください。
2. 登録済みのユーザーID とパスワードを入力して、Hitachi Storage Navigator Modular 2 にログインしてください。
3. Password Protection を設定するアレイ装置を選択してください。
4. アレイ表示/設定ボタンをクリックしてください。
5. セキュリティツリー内のパスワード保護アイコンを選択してください。
パスワード保護リストが表示されます。
6. ユーザーID 作成ボタンをクリックしてください。
ユーザーID 作成ダイアログボックスが表示されます。

7. ユーザーID、パスワード、および確認パスワードを入力し、OK ボタンをクリックしてください。

ユーザーID 登録するユーザーID を指定します。

パスワード 登録するユーザーID のパスワードを指定します。

確認パスワード 登録するユーザーID のパスワードと同じパスワードを指定します。

表 4-1 ユーザーID、パスワードに使用可能な文字長と文字列

項目	仕様
ユーザーID の長さ	4～12 文字
パスワードの長さ	4～12 文字
ユーザーID、パスワードに使用可能な文字列	半角英数字 (「_」または「-」を含む)
最大登録ユーザー数	20

8. 確認メッセージが表示されるので、閉じるボタンをクリックしてください。

ユーザーID作成

ユーザーID作成が完了しました。
最初のユーザーIDを作成したときは、アレイ一覧画面からログインし直してください。



4.2 ユーザーID を変更する

アレイ装置に登録済みのユーザーID を変更します。

1. Hitachi Storage Navigator Modular 2 を起動してください。
2. 登録済みのユーザーID とパスワードを入力して、Hitachi Storage Navigator Modular 2 にログインしてください。
3. 登録済みのユーザーID を変更するアレイ装置を選択してください。
4. アレイ表示/設定ボタンをクリックしてください。
ログインダイアログボックスが表示されます。
5. 登録したユーザーID とパスワードを入力し、ログインボタンをクリックしてください。
6. セキュリティツリー内のパスワード保護アイコンを選択してください。
パスワード保護リストが表示されます。
7. ユーザーID 編集ボタンをクリックしてください。
ユーザーID 編集ダイアログボックスが表示されます。

ユーザーID編集 ヘルプ

ユーザーIDプロパティ

編集するユーザーIDの情報を入力してください。

* 旧ユーザーID :
4文字以上12文字以内の半角英数字と特殊文字("_","-")

* 新ユーザーID :
4文字以上12文字以内の半角英数字と特殊文字("_","-")

* 旧パスワード :
4文字以上12文字以内の半角英数字と特殊文字("_","-")

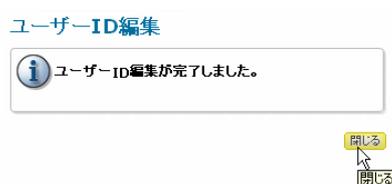
* 新パスワード :
4文字以上12文字以内の半角英数字と特殊文字("_","-")

* 確認パスワード :
パスワードをもう一度入力してください。

* 入力必須

OK キャンセル
OK

8. 旧ユーザーID と新ユーザーID、旧パスワードと新パスワード、および確認パスワードを入力し、OK ボタンをクリックしてください。
旧ユーザーID 変更するユーザーID を指定します。
新ユーザーID 登録するユーザーID を指定します。
旧パスワード 変更するユーザーID のパスワードを指定します。
新パスワード 登録するユーザーID のパスワードを指定します。
確認パスワード 登録するユーザーID のパスワードと同じパスワードを指定します。
9. 確認メッセージが表示されるので、閉じるボタンをクリックしてください。

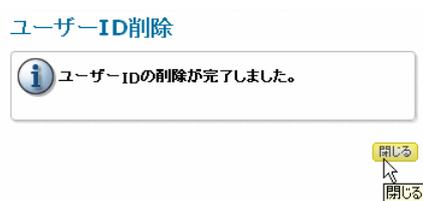


4.3 ユーザーID を削除する

アレイ装置に登録済みのユーザーID を削除します。

1. Hitachi Storage Navigator Modular 2 を起動してください。
2. 登録済みのユーザーID とパスワードを入力して、Hitachi Storage Navigator Modular 2 にログインしてください。
3. 登録済みのユーザーID を削除するアレイ装置を選択してください。
4. **アレイ表示/設定** ボタンをクリックしてください。
ログインダイアログボックスが表示されます。
5. 登録したユーザーID とパスワードを入力し、**ログイン** ボタンをクリックしてください。
6. **セキュリティツリー** 内の **パスワード保護** アイコンを選択してください。
パスワード保護 リストが表示されます。
7. **ユーザーID 削除** ボタンをクリックしてください。
ユーザーID 削除 ダイアログボックスが表示されます。

8. ユーザーID とパスワードを入力し、**OK** ボタンをクリックしてください。
ユーザーID 削除するユーザーID を指定します。
パスワード 削除するユーザーID のパスワードを指定します。
9. 確認メッセージが表示されるので、**閉じる** ボタンをクリックしてください。



4.4 パスワードを変更する

アレイ装置に登録済みのユーザーID のパスワードを変更します。

1. Hitachi Storage Navigator Modular 2 を起動してください。
2. 登録済みのユーザーID とパスワードを入力して、Hitachi Storage Navigator Modular 2 にログインしてください。
3. 登録済みのユーザーID のパスワードを変更するアレイ装置を選択してください。
4. アレイ表示/設定ボタンをクリックしてください。
ログインダイアログボックスが表示されます。
5. 登録したユーザーID とパスワードを入力し、ログインボタンをクリックしてください。
6. セキュリティツリー内のパスワード保護アイコンを選択してください。
パスワード保護リストが表示されます。
7. パスワード変更ボタンをクリックしてください。
パスワード変更ダイアログボックスが表示されます。

パスワード変更 ヘルプ

ユーザーIDプロパティ

パスワードを変更するユーザーIDの情報を入力してください。

* ユーザーID :
4文字以上12文字以内の半角英数字と特殊文字("_","-")

* 旧パスワード :
4文字以上12文字以内の半角英数字と特殊文字("_","-")

* 新パスワード :
4文字以上12文字以内の半角英数字と特殊文字("_","-")

* 確認パスワード :
パスワードをもう一度入力してください。

* 入力必須

OK キャンセル
OK

8. ユーザーID、旧パスワードと新パスワード、および確認パスワードを入力し、OK ボタンをクリックしてください。
ユーザーID 変更するユーザーID を指定します。
旧パスワード 変更するユーザーID のパスワードを指定します。
新パスワード 登録するユーザーID のパスワードを指定します。
確認パスワード 登録するユーザーID のパスワードと同じパスワードを指定します。
9. 確認メッセージが表示されるので、閉じるボタンをクリックしてください。

パスワード変更

 パスワードの変更が完了しました。

閉じる
閉じる

4.5 装置へログインする、ログアウトする

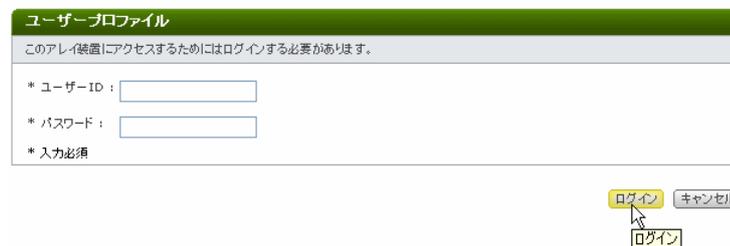
Hitachi Storage Navigator Modular 2 からのログインおよびログアウト手順を次に示します。

注意：ログイン中は他の Hitachi Storage Navigator Modular 2 からの装置登録はできません。

4.5.1 ログイン手順

1. Hitachi Storage Navigator Modular 2 を起動してください。
2. 登録済みのユーザーID とパスワードを入力して、Hitachi Storage Navigator Modular 2 にログインしてください。
3. ログインするアレイ装置を選択してください。
4. アレイ表示/設定ボタンをクリックしてください。
ログインダイアログボックスが表示されます。

ログイン -HUS110_91200026



5. 登録されているユーザーID とパスワードを入力し、ログインボタンをクリックしてください。

注意：Hitachi Storage Navigator Modular 2 は、アレイ装置にログインしたユーザーID とパスワードを一時的に記憶しています。一時的に記憶したユーザーID とパスワードは、「4.5.2 ログアウト手順」でログアウトすると消去されます。

4.5.2 ログアウト手順

1. エクスプローラ内のリソースをクリックしてください。



注意：Hitachi Storage Navigator Modular 2 の閉じるボタンまたはログアウトボタンをクリックしても、アレイ装置からログアウトされません。アレイ装置からログアウトしたい場合は、必ず本手順を実行してください。

4.5.3 強制ログイン手順

アレイ装置画面でアレイ装置を選択したとき、すでに他のユーザーがログインしているメッセージが表示される場合があります。メッセージには、ログインしているユーザーID が表示され、強制ログインするかどうか確認メッセージが表示されます。

強制的に接続する場合は OK を選択し、強制的にログインしてください。このとき、先にログインしてアレイ装置を使用していたユーザーは、強制的にログアウトされるので、十分注意してください。

CLI での操作

ここでは、Hitachi Storage Navigator Modular 2 の CLI を使用した場合の、次に示す Password Protection の操作方法を説明します。

本章は以下の内容で構成されています。

- 5.1 インストール
- 5.2 アンインストール
- 5.3 無効化と有効化
- 5.4 Password Protection 情報の設定
- 5.5 装置へのログイン、ログアウト手順
- 5.6 お問い合わせ先

5.1 インストール

インストールには、Basic Operating System for Modular に添付されているキーファイルが必要です。Password Protection をインストールする手順を次に示します。

注意：インストール、アンインストール、および無効化と有効化などは、操作するアレイ装置が正常であることを確認した後にしてください。コントローラー閉塞などの障害が発生している場合は、インストールおよびアンインストールを実行できません。

1. コマンドプロンプト上で、Password Protection をインストールしたいアレイ装置を登録し、さらにそのアレイ装置に接続します。
2. auopt コマンドを実行してオプションを解錠します。入力例、および結果を次に示します。
キーファイルへのパスの例：HUS110 の場合

```
E:\BOSM2150_00_00\licensekey\PasswordProtection\XS\Windows\keyfile
```

E は Basic Operating System for Modular の DVD-R を装着したドライブライターです。

HUS130 の場合、XS は S に置き換えてください。

HUS150 の場合、XS は MH に置き換えてください。

```
% auopt -unit 装置名 -lock off -licensefile CD-R のキーファイルへのパス
\キーファイル名
番号 オプション名称
  1 Password Protection
解錠するオプションの番号を指定してください。
複数のオプションを解錠する場合はスペース区切りで指定してください。すべて解錠する
場合は all を入力してください。終了する場合は q を入力してください。
解錠するオプションの番号 (番号/all/q [all]): 1
オプションを解錠します。
よろしいですか? (y/n [n]): y

オプション名称                結果
Password Protection           解錠

処理が完了しました。
%
```

3. auopt コマンドを実行してオプションが解錠されたかどうか確認してください。入力例、および結果を次に示します（下記は出力項目のイメージです）。

```
% auopt -unit 装置名 -refer
オプション名称   種別           有効期限 状態           使用メモリ再構築状態
PASSWD-PROTECT Permanent      ---      有効           N/A
%
```

Password Protection のインストールが完了しました。

5.2 アンインストール

アンインストールするためには、Basic Operating System for Modular に添付されているキーファイルが必要です。一度アンインストールすると、再度キーファイルで解錠するまでは Password Protection は使用できません（施錠状態）。

Password Protection のアンインストール手順を次に示します。

1. コマンドプロンプト上で、Password Protection をアンインストールしたいアレイ装置を登録し、さらにそのアレイ装置に接続します。
2. auopt コマンドを実行してオプションを施錠します。入力例、および結果を次に示します。キーファイルへのパスの例：HUS110 の場合

```
E:\BOSM2150_00_00\licensekey>PasswordProtection\XS\Windows\keyfile
```

E は Basic Operating System for Modular の DVD-R を装着したドライブレータです。

HUS130 の場合、XS は S に置き換えてください。

HUS150 の場合、XS は MH に置き換えてください。

```
% auopt -unit 装置名 -lock on -licensefile CD-R のキーファイルへのパス\キ  
ーファイル名  
番号 オプション名称  
 1 Password Protection  
施錠するオプションの番号を指定してください。  
終了する場合は q を入力してください。  
施錠するオプションの番号 (番号/q [q]): 1  
オプションを施錠します。  
よろしいですか? (y/n [n]): y  
  
オプション名称                      結果  
Password Protection                  施錠  
  
処理が完了しました。  
%
```

3. auopt コマンドを実行してオプションが施錠されたかどうか確認してください。入力例、および結果を次に示します。

```
% auopt -unit 装置名 -refer  
DMEC002015:表示する情報がありません。  
%
```

Password Protection のアンインストールが完了しました。

5.3 無効化と有効化

Password Protection はインストールされた状態（解錠状態）で、機能の利用の有効化や無効化の設定できます。

Password Protection の利用を有効または無効に設定する手順を次に示します。

1. コマンドプロンプト上で、Password Protection の有効/無効を設定したいアレイ装置を登録し、さらにそのアレイ装置に接続します。
2. `auopt` コマンドを実行して有効/無効を設定します。
有効状態を無効状態に変更する場合の入力例、および結果を次に示します。反対に、無効状態を有効状態に変更する場合は、`-st` オプションの後に `enable` と入力してください。

```
% auopt -unit 装置名 -option PASSWD-PROTECT -st disable
オプションを無効にします。
よろしいですか? (y/n [n]): y
オプション設定が終了しました。
%
```

3. `auopt` コマンドを実行してオプションの状態を確認してください。入力例、および結果を次に示します（下記は出力項目のイメージです）。

```
% auopt -unit 装置名 -refer
オプション名称   種別           有効期限 状態           使用メモリ再構築状態
PASSWD-PROTECT Permanent     ---      無効           N/A
%
```

Password Protection の利用の有効化/無効化の設定が完了しました。

5.4 Password Protection 情報の設定

Hitachi Storage Navigator Modular 2 (CLI) を使って、Password Protection 情報を設定します。使用するコマンドは以下のとおりです。

ユーザ ID の登録 : `auuidadd`、ユーザ ID の変更 : `auuidchg`

ユーザ ID の削除 : `auuiddel`、パスワードの変更 : `aupwdchg`

アレイ装置へのログイン : `aulogin`、アレイ装置からのログアウト : `aulogout`

ログインの確認 : `auchkid`

5.4.1 アカウントの登録

Hitachi Storage Navigator Modular 2 からユーザ ID とパスワードを登録する手順を次に示します。

1. コマンドプロンプト上で、Password Protection 情報を設定したいアレイ装置を登録し、さらにそのアレイ装置に接続します。
2. `auuidadd` コマンドを実行してユーザ ID とパスワードを登録します。
入力例および結果を次に示します。

```
% auuidadd -unit 装置名
アレイ装置に設定するユーザ ID : (設定するユーザ ID)
アレイ装置に設定するパスワード : (設定するユーザ ID のパスワード)
アレイ装置に設定する再新パスワード : (設定するユーザ ID のパスワードと同じ値)
登録数 : n
%
```

3. 登録されているユーザ数を表示する場合は、以下のように指定します。

```
% auuidadd -unit 装置名 -num
登録数 : n
%
```

5.4.2 ユーザ ID の変更

Hitachi Storage Navigator Modular 2 でユーザ ID を変更する手順を次に示します。

```
% auuidchg -unit 装置名
アレイ装置に設定されているユーザ ID : (設定されているユーザ ID)
アレイ装置に設定されているパスワード : (設定されているユーザ ID のパスワード)
アレイ装置に設定するユーザ ID : (設定するユーザ ID)
アレイ装置に設定するパスワード : (設定するユーザ ID のパスワード)
アレイ装置に設定する再新パスワード : (設定するユーザ ID のパスワードと同じ値)
登録数 : n
%
```

5.4.3 ユーザ ID の削除

Hitachi Storage Navigator Modular 2 でユーザ ID を削除する手順を次に示します。

```
% auuiddel -unit 装置名
アレイ装置に設定されているユーザ ID : (設定されているユーザ ID)
アレイ装置に設定されているパスワード : (設定されているユーザ ID のパスワード)
登録数 : n
%
```

5.4.4 パスワードの変更

Hitachi Storage Navigator Modular 2 でパスワードを変更する手順を次に示します。

```
% aupwdchg -unit 装置名
アレイ装置に設定されているユーザ ID : (設定されているユーザ ID)
アレイ装置に設定されているパスワード : (設定されているユーザ ID のパスワード)
アレイ装置に設定するパスワード : (設定するユーザ ID のパスワード)
アレイ装置に設定する再新パスワード : (設定するユーザ ID のパスワードと同じ値)
登録数 : n
%
```

5.5 装置へのログイン、ログアウト手順

アレイ装置に登録されているユーザ ID で、アレイ装置に対してログインを宣言します。ログインすることにより、他のユーザ ID からのログインはできなくなります。すでにログインされているアレイ装置に対して強制的にログインする場合は、`-discon` オプションを指定します。強制ログインした場合、すでにログインしていたユーザ ID はログアウトされます。

注意：ログイン中は他の Hitachi Storage Navigator Modular 2 からの装置登録はできません。

5.5.1 ログイン手順

1. コマンドプロンプト上で、**Password Protection** 情報を設定したいアレイ装置を登録し、さらにそのアレイ装置に接続します。
2. `aulogin` コマンドを実行して、アレイ装置にログインします。
入力例および結果を次に示します。

```
% aulogin -unit 装置名
アレイ装置に設定されているユーザ ID：(設定されているユーザ ID)
アレイ装置に設定されているパスワード：(設定されているユーザ ID のパスワード)
ユーザ ID (xxxxxxxxxxxx) が接続中です。
%
```

5.5.2 ログアウト手順

1. `aulogout` コマンドを実行して、アレイ装置からログアウトします。
入力例および結果を次に示します。

```
% aulogout -unit 装置名
%
```

5.5.3 強制ログイン手順

ログインしているアレイ装置に対して、ログインしているユーザ ID を強制的にログアウトし、登録されているユーザ ID で強制ログインします。

1. `aulogin` コマンドを実行して、アレイ装置にログインします。
入力例および結果を次に示します。

```
% aulogin -unit 装置名 -discon
アレイ装置に設定されているユーザ ID：(設定されているユーザ ID)
アレイ装置に設定されているパスワード：(設定されているユーザ ID のパスワード)
ユーザ ID (xxxxxxxxxxxx) が接続中です。
強制的に接続しますか? (y/n [n]): y
%
```

5.5.4 ログインの確認

アレイ装置にログインしているユーザ ID が表示されます。このユーザ ID は、ログインしているユーザ ID 以外からこのコマンドを発行した場合にだけ照会できます。ログインしているユーザ ID からこのコマンドを発行してもユーザ ID を照会することはできません。

1. auchkuid コマンドを実行します。入力例を次に示します。

```
% auchkuid -unit 装置名
ユーザ ID (xxxxxxxxxxxx) が接続中です。
%
```

5.6 お問い合わせ先

サポートサービス利用ガイドに記載された連絡先にお問い合わせください。

索引

C

CLI, 25

CLI から

アンインストール, 27

インストール, 26

無効化, 28

有効化, 28

G

GUI から

アンインストール, 16

インストール, 14

無効化, 18

有効化, 18

P

Password Protection

概要, 8

仕様, 11

あ

アカウント

登録, 20, 29

アンインストール (CLI) , 27

アンインストール (GUI) , 16

い

インストール (CLI) , 26

インストール (GUI) , 14

き

キーファイル

解錠 (インストール) , 26

キーファイル

施錠 (アンインストール) , 16

強制ログイン手順, 24, 31

は

パスワードの変更, 23, 29

む

無効化と有効化 (CLI) , 28

無効化と有効化 (GUI) , 18

ゆ

ユーザ ID

削除, 29

変更, 29

ユーザーID

削除, 22

変更, 21

ろ

ログアウト手順, 24, 31

ログイン手順, 24, 31

ログインの確認, 32

